

2019年8月7日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「子宮体癌 1A 期に対する手術療法に関する既存情報を用いた後方視的検討」への協力をお願い

産婦人科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014年4月～2019年5月に当科において、腹腔鏡下子宮体癌根治術、ロボット支援下子宮体癌根治術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2019年12月31日

研究目的・方法：

子宮体癌 1A 期かつ endometrial adenocarcinoma G1-2 に対する外科的治療は近年低侵襲化が進んでいます。当院では 2014 年 4 月から腹腔鏡下子宮全摘術を開始しましたが、2018 年 6 月にロボット支援下子宮体癌根治術を導入したことにより、徐々にロボット支援下手術に移行しつつあります。本研究では当院での腹腔鏡下子宮体癌根治術とロボット支援下子宮体癌根治術の手術時間や手術合併症などを比較し、ロボット支援下手術に移行することによるメリット、デメリットを明らかにすることを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。

年齢、身長、体重、既往歴・併存症、術前子宮内膜組織検査結果、術前 MRI 検査結果
術式、入室時間、麻酔開始時間、手術開始時間、ロールイン時間、手術終了時間
麻酔終了時間、退室時間、出血量、合併症、術後病理結果、追加治療

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

電話番号 058-230-6349

氏名：志賀 友美

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

氏名：志賀 友美